

外国人困窮者支援のいま  
—北関東医療相談会月間レポート：2024年2月～3月版—

■支援日誌

□2月7日「オール明治 講演会」

皆様へ

1月29日（月）オール明治の写真を報告します。明治大学出身の萩原先生と大学の皆様の企画でした。仮放免者もきていました。印象的だったのは明治大学の先生の講和でコンゴ共和国など内陸からの難民がでるのは、携帯や重要な鉱石の産出国で大国の利権や族長などの利権が絡んでいると話されていたのが印象的でした。

今度じっくりと伺いたいとおもいました。





ができる共生社会の実現をめざし、特に外国籍・生活困窮、社会教育の増進、災害救護、人権の擁護、国際協力

可活動法人 北関東医療相談会 定款から)

1年 会員171人 ボランティア710人  
66回 受診者数 3,386人

対象者 (入管白書2024)  
392人 (2021.1.1)

7,781 (2021)



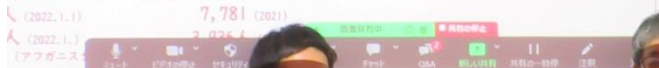
キリシタンを指して(ルカ福音書10章25節~37節)  
馬場伊勢崎市にて胃がんで亡くなったフィリピン人から始まる。

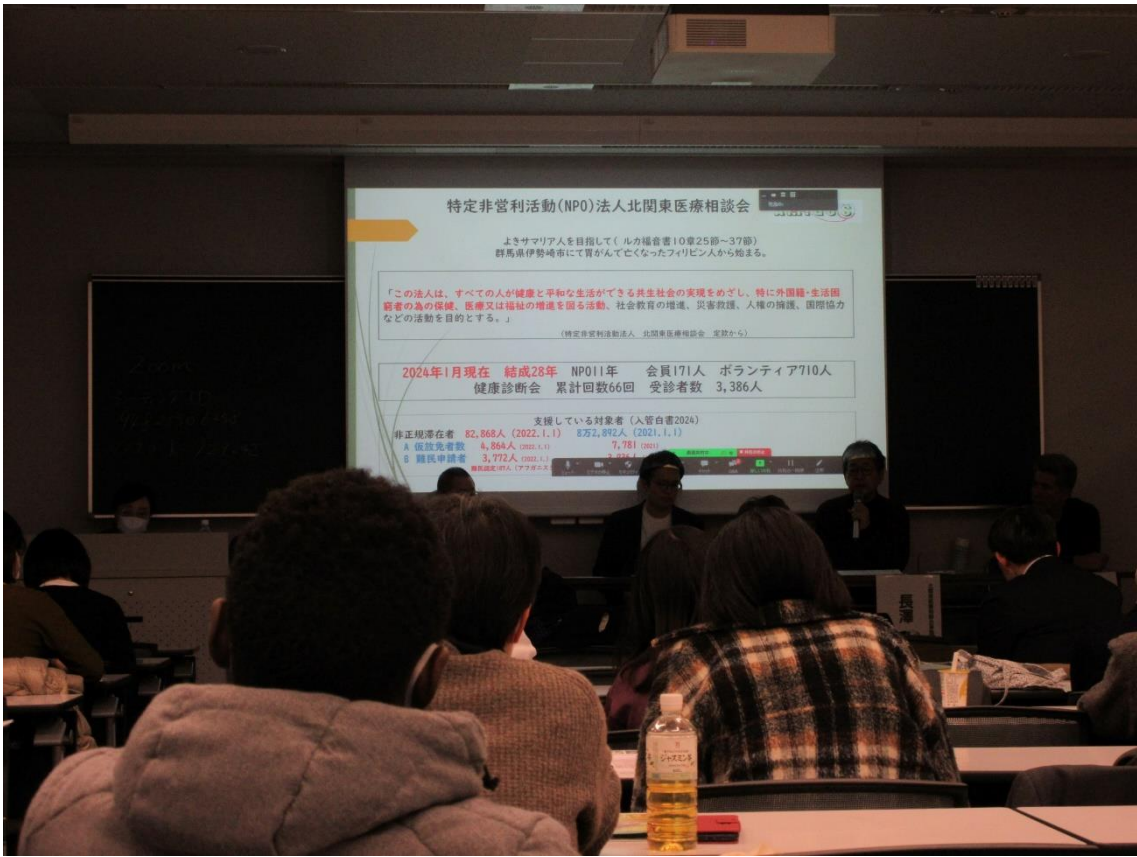
健康と平和な生活ができる共生社会の実現をめざし、特に外国籍・生活困窮者の増進を図る活動、社会教育の増進、災害救護、人権の擁護、国際協力

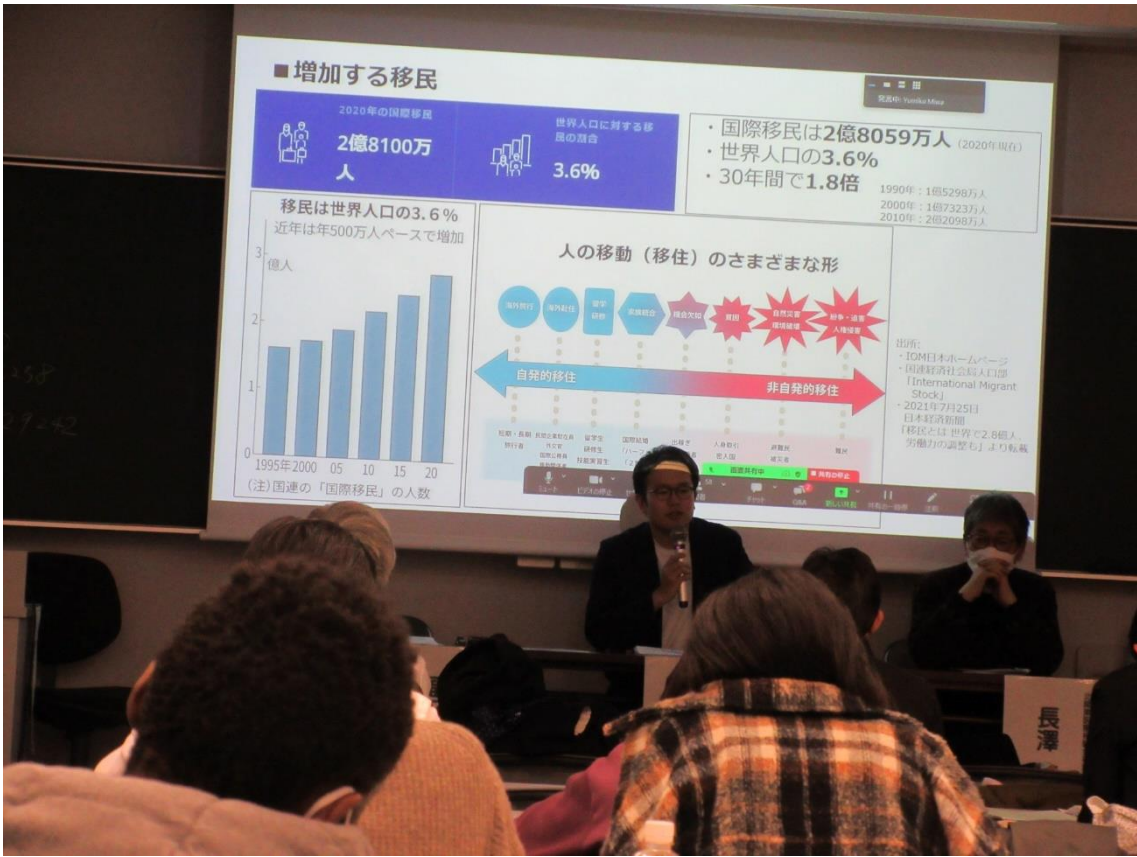
(特定非営利活動法人 北関東医療相談会 定款から)

平成28年 NP011年 会員171人 ボランティア710人  
断会 累計回数66回 受診者数 3,386人

支援している対象者 (入管白書2024)  
(2022.1.1) 8万2,892人 (2021.1.1)









□2月7日「第66回医療相談会 健診結果報告会」

皆様へ

1月28日（日）友部の結果報告会を TOMOA という友部駅の近くの公民館で行いました。参加者は40人と受診者の半分でしたが皆積極的に聞きに来たと思います。特に今回は民医連の管理栄養士さんが参加していただき情報を持ち帰りました。次回以降積極的に関与いただけると話されていました。今後が楽しみです。

















注)「支援日誌」は長澤正隆 Facebook を基に修正加筆を行った。

## ■支援状況

### □個別支援（アウトリーチ支援）

- ・アミーゴスのメンバーで個別支援。
- ・生活、医療、住宅、入管関係支援を行う

### □食料・生活必需品等の配布

#### ①食料（米、おかず、野菜、調味料など）や生活用品（オムツなど）

2月	117	132,880	336,815	469,695
3月	106	117,370	320,585	437,955

#### ②感染予防のための衛生用品（マスク、石鹸、アルコール消毒液）※偶数月に2か月分送付

### □住居支援

- ①群馬県高崎市に「めぐみアパート」3部屋借り上げ。
- ②埼玉県杉戸町に「すぎとの家」1軒借り上げ。

編集：大澤優真